

# 清流

題字：芳野 充

令和6年4月30日

第88号

発行所 加来不動産(株)

発行者 加来 寛

北九州市小倉南区守恒本町1-12-23

穏やかに

静かに

清流のように

いつもニッコリ

四月から新年度がはじまりました。あたたかな陽気にさそわれ春の草花も芽吹きはじめるなか転勤や卒業、入学など人のうごきも活発です。個人的な話ですが、わたしの娘もこの四月から高校生になり、先日入学式に参列してきました。

体育館での式典を終えたあと、各クラスに移動し説明会が行われたのですが、その前後では生徒たちが同じ中学校だった友だちとの再会をよるこび、教室はこぼれんばかりの笑顔であふれています。つられてわたしもまわりの父兄もなごやかな笑顔でつまれていました。

そのときの心境を少しずつ見つめてみると、心おだやかで幸せな気持ちで満たされているを感じ、笑顔は自分だけではなく、まわりの人にも安心と喜びを伝播させる力がある、と改めて実感したできごとでした。

さいきん読んだ本に、「人が笑顔でいると五つの恵みがあり、その笑顔の効果を知っておくことも大切です」と、書かれていたことを思い出しました。かんたんに紹介してみます。

- ① 気持ちに余裕が生まれる
- ② 相手に心を開いているサインになる
- ③ 生き生きとした印象を与える
- ④ 免疫力が高まる
- ⑤ 精神的に安定する

著者は他にも、高額な賃貸物件や高級マンションに住んでいる人ほど、笑顔やあいさつ率が高いことや、トップセールスマンと言われる人ほど、表情がよい人がほとんどであることもあげていました（『なぜか人生がうまくいく「明るい人」の科学』より）。

確かにそうかもしれないですね。相手がどれだけ高い知識や経験をもっていても、その人が陰い表情や不愛想だとしたら、声をかけづらくありません。結果、その人は気づかないところで高い知識や経験を活かす機会を失っているかもしれません。

気持ちにゆとりがあり、楽しいことがあるから笑顔になるのは誰にでもできます。しかしそうではないときにこそ笑顔でいることで、気持ちにゆとりをもたせ、相手に心を開いているサインをつくることができます。そしてそんななごやかな笑顔の人には、自然と人や情報も集まり、経済的にも精神的にも豊かな人生につながるのではないのでしょうか。

この新年度を機に、自分の手帳の裏表紙に書いた「いつもニッコリ♪」の文字に目をやり、心にゆとりがなくても、イヤなことがあったとしてもなごやかな笑顔の人になれるよう、今日も明日もかがみの前でニッコリと笑顔にはげみます。

加来 寛

